

2023 年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京

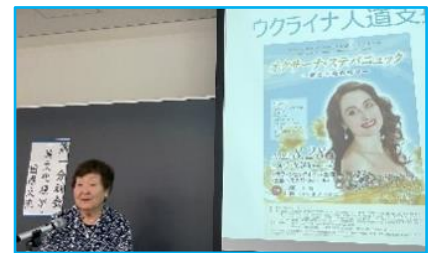
Together for Future

国や文化、あらゆる違いを超えて心に平和の砦を築こう！

2023 年 9 月 3 日（日） 青山学院大学（17 号館 本多記念国際会議場）

主催：日本ユネスコ協会連盟/関東ブロック・ユネスコ連絡協議会/東京都ユネスコ連絡協議会

特別講演 講師：コシノジュンコ氏 参加：432 名（目黒ユ協会から 11 名＋トキワ松学園生徒 4 名参加）



7 年ぶりの東京開催となった 2023 年度の研究会は大きな会場が満席となる大盛況だった。目黒ユ協からは爲季会長、望月・齊藤副会長、久富事務局長含め 11 名、他にユネスコスクール校の生徒4名が参加した。当協会の広報委員5名は、ご来客対応のボランティアを務めた。

開会式では、文部科学省国際統括官日本ユネスコ国内委員会事務総長 渡辺正美氏、渋谷区長 長谷部健氏、青山学院院長 山本与志春氏他の来賓の皆様から、東京開催への温かい応援の言葉を頂戴した。

引き続き、コシノジュンコ氏の特別講演「ファッションの持つエネルギー」が始まった。1970 年代からの自身のコレクションやファッションショーの写真をスクリーンに映しながら、その時々エピソードやコンセプトなどを披露し、日本の在り方を衣装で見せたいという文化交流の気持ちを大切にショーを作られてきたことが語られた。ファッションとは、知識や遊び心、現状判断の完成形であり、「答えはないが結果は出る」。今は夢、明日は歴史になると、何も無いところから全員でショーを作り上げる姿勢など、強い信念には心が動かされた。最後

には、現在大切にしている「かきくけこ」を教えてください。「か」は感謝、「き」は希望、「く」はよくよくしない、「け」は健康、「こ」は行動する、である。これが今なお現役で活躍されているコシノ氏の源となっている。

その後、分科会（①異文化理解・国際交流、②世界遺産・未来遺産、③科学・環境、ユネスコスクール）では、提案者の発表と活発な質疑が行われた。

閉会式では、分科会報告後、青年評議員会報告・青年活動報告もあり、若い方々のしっかりとした活動報告を伺い、次世代の担い手が少なくなったと聞いている中でもユネスコの信念は確実に引き継がれていると感じた。最後に次年度開催地挨拶で、茨城県ユネスコ連絡協議会から、日程と会場が発表された（2024 年 10 月 12 日（土）つくば国際大学/土浦市）。地元の PR とともに、「茨城でお待ちしています」という明るい声で締めくくられた。

交流会（参加：123 名）は、レストランシノメ（旧青学会館）に会場を移し、洋食とフリードリンクで歓談のひとときを、楽しんだ。

理事 遠藤 裕子

第 79 回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田

「世界遺産」秀麗な富士の麓で会いましょう



2023 年 9 月 9 日（土）・ふじさんホール

主催：日本ユネスコ協会連盟・山梨県ユネスコ連絡協議会 主管：山梨市ユネスコ協会

全国各地から 300 名を超える多くのユネスキヤンが一堂に会し、さらなる活動の発展を誓うにぎやかなフェスティバルとなった。

大会のコンセプトは、① 富士山がユネスコの世界遺産に登録されて 10 年目の記念すべき年であることから「富士山」と、②ユネスコ活動の高齢化にストップをかけるため次代を担う「若者の声を聞く」である。

あいにくの曇空で富士山の雄姿を見ることはできなかったが、富士山ろくの緑豊かな自然の中でユネスコ活動の現状を振り返り、未来を展望する意義深い大会だった。

開会式に続いて、「富士山と浮世絵 ～お江戸にタイムスリップ デジタル化が明かした江戸庶民の文化～」をテーマに、牧野健太郎氏の興味深い講演があった。同氏は米国ボストン美術館にある浮世絵のデジタル化プロジェクトの日本側責任者。デジタル化によって、普段見逃してしまう絵の細かいところを拡大することが出来るようになった。これを観察

すると、風刺とユーモアを利かせて庶民の暮らしぶりが表現されており、また作者の意地などが垣間見え、見る人は笑いながら絵を楽しんだことが分かる。葛飾北斎の富岳三十六景から入り、多くの浮世絵を実際にスクリーンに映し出して細部を拡大して示しながら、解説された講演はとても面白かった。

次に、高校生 4 人によるパネルディスカッション。テーマは「ユネスコの今と未来」。ステージ上には、山梨県内の高校生 3 名と愛媛県からオンラインで 1 名が参加。それぞれが自分たちのユネスコ部などでの実際の活動や今後の方向性などについて熱心に語り、頼もしかった。なお、地域の民間ユネスコ協会との交流などは、残念ながら、少ない印象だった。学校と民間団体の関係は難しい面もあるが、双方で情報共有する機会があれば、双方にさらなる発展が期待されると思われる。このような実例は、目黒ユ協でも、ユネスコスクールとの協力や青年部の活動にも参考になる点が多く、今後に期待したいと感じた。

会長 爲季 繁

支援通信

平和祈念のつどいと千羽鶴

2023 年 8 月 6 日（日）9：30～ 目黒区民センターホール 主催：目黒区



目黒区では、平和都市宣言（昭和 60 年）を行い、悲惨な歴史とその教訓を次世代に伝える活動に取り組んでいます。小・中学生を対象に、平和の尊さについて考え学ぶ機会を提供するため、毎年 8 月 5 日から 7 日に「平和の特派員」として広島市へ派遣する事業もその一つです。

8 月 6 日の「平和祈念のつどい」では昨年特派員として参加した生徒の体験報告や、平和祈念標語（公募）の発表、「平和の鐘」（★追記参照）の打鐘（公園内）など、来場者の心に残る素晴らしい内容でした。

また今年も目黒ユネスコ協会からの千羽鶴は、ほたる祭り等のイベント会場で子ども達が折った物と一緒に、特派員の子ども達の手で平和記念公園の「原爆の子の像」へ、平和への祈りを込めて供えられました。

副会長 齊藤 眞澄

追記：★目黒区の「平和の鐘」★ 広島「平和の鐘」の作者、香取正彦氏（当協会会員・鍍金で人間国宝・目黒区名誉区民）より、目黒区が平和都市宣言を行った昭和 60 年に寄贈されました。

サイエンス教室

空間を多角形で埋め尽くそう！



講師：広中由美子氏（早稲田大学名誉教授） 主催：目黒区教育委員会・主管：目黒ユネスコ協会
 日時：2023年8月6日(日)14:00～16:00 場所：緑が丘文化会館 参加児童：11名、関係者：15名



数学の楽しさを見出すことをテーマに、多角形を用いたパズルを使って図形について学びました。まずは種類の多角形のみを使って、平面に敷き詰められるかという問題について考えました。正三角形から順に紙とペンを使って試してみると、三、四、六角形でしか作れません。実はこれは図形の内角の和を考えるとすぐ分かることです。平面、すなわち 360° を作るには何枚の正多角形が必要になるかを考えます。

正三角形なら6枚、正方形なら4枚、正六角形なら3枚あれば 360° を作れますが、他の正多角形の一つの角ではどれ程整数倍しても 360° を作れません。よって上記3種の正多角形だけが平面を作ることができるというわけです。

実はこれを証明したのは、かの有名なピタゴラスだそうです。

それでは、今度は複数種類の正多角形の組み合わせならどうでしょうか。ルールは頂点と頂点を合わせる。そしてどの頂点を見ても同じように多角形同士が集まっている。特に後者のルールが肝で、一見平面が出来たようでもいくつかの頂点を見て組み合わせが異なっているとダメです。第2問を解くにあたり、まずは内角の和を考えます。そうして正多角形の組み合わせについて、いくつか候補を検討し、パズルを使って検証してみました。

特に良かったのは、初対面同士、話すこともなかった子どもたちが最後には力を合わせて大きな平面を作り上げたことです。

青少年委員長 神戸陸太郎

子どもたちの感想「楽しかった！」「楽しかったのもあるし、頭をつかった…」「手も疲れた」「とっても面白かった」「できて嬉しかった。また、他の図形でもやってみたい♪」「3336ができなかった」「むずかしかった」「最初は大変だったけど、グループ作業は楽しかった」「どうやったら、パターンができるか、頭をつかった」

文化講座②講師紹介

韓国料理教室歴14年。
 広告制作の料理制作、
 専門学校講師、メニュー開発等
 「詳細4P参照」
 12月開催予定



ジ ミンジョン氏

文化講座③講師紹介

元ユネスコ日本政府特命全権大使



門司 健次郎 氏

Miss SAKE JAPAN



山田 琴子 氏

TEATIME 目黒ユ協創立50周年記念詩集
 世界の子どもの詩集「道・明日へ」より

平和を願って

ピッタ・ゲイ・パウエル (14歳女子)
 戦争が止みますように
 あらゆる武器が無くなりますように
 生まれてきた子どもたちが
 親を亡くすることがないように



そういう日々が待ち遠しい
 静かな空 聞こえてくるのが
 人々の叫び声などでなく

そういう時代になれば良い
 もはや警察もいらず 犯罪の無い地上
 平和が欲しい

目黒ユネスコ美術展

日時：11月22日(水)～26日(日)

会場：目黒区美術館区民ギャラリー

「アートで平和に貢献」を命題に今年も開催します。
ご来場をお待ちしております。

★ユネスコ国際文化交流講座

★A) ユネスコ文化講座①

「タイ国の文化そして工業とSDGsについて」

微笑みの国タイ国、その文化・工業・SDGsの現状。

講師：1) 駐日タイ大使館

- ・キッティパン バンイーカン公使 (工業)
- ・サコン ワナセティ公使 (農業)

2) 東京外国語大学スーニャ教授

日時：10月21日(土)14:00～16:00 参加：70名(先着)

会場：緑ヶ丘文化会館 区報10月1日号

申込締切：10月2日～10月15日

★B) ユネスコ文化講座②

「～世界の味文化紹介～」

韓国料理の魅力を学び、韓国の家庭料理を作ろう」

本格的なものからB級グルメまで、今流行っているリアルな韓国家庭料理を紹介。 区報12月1日号掲載

日時：12月16日(土)12:00～14:30

会場：緑ヶ丘文化会館(調理実習室)

講師：ジ ミンジョン 氏(韓国料理講師歴14年)

定員：20名(抽選) 参加費：1,800円(材料代)

★C) ユネスコ文化講座③

「仮題：ユネスコ無形文化遺産登録を目指す日本酒の魅力とその味わい方」

「伝統的造り」をユネスコへ申請するまでのプロセスや日本酒の魅力と味わい方入門編。

日時：2024年1月20日(土)10:00～12:00

会場：中目黒GTプラザホール

講師：門司 健次郎 氏(元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使) 山田 琴子(日本酒の親善大使)

定員：80名(先着：試飲のため20歳以上)

参加費：500円(試飲代) 区報12月15日号掲載予定

※★A～Cの各申込は、めぐろ区報をご参照ください。

問合せ：目黒ユネスコ協会 研修(齊藤)まで。

■新型コロナウイルス感染防止のため、活動が中止、または延期になる場合があります。ご了承ください。

◇ 計 報 ◇

◇ 原田 貞子氏 : 元理事

新年会や総会で、よくお花を活けてくださいました。
心からの哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

活動日誌 8月～9月

- ★8/6 (日) サイエンス教室「数学を楽しもう」
- 9/3 (日) 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京
- ▲9/5 (火) ユネスコ日本語教室
- 9/9 (土) 第79回日本ユネスコ運動全国大会 in 富士吉田
- 9/15 (金) 運営会議

10月以降の予定

- ★10/4 (水) インドネシア語初級講座
- 10/11 (水) 発送連絡会
- ★10/21 (土) ユネスコ文化講座①「タイ国」
- 10/28 (土) 第4回理事会
- ★11/2 (木) フランス語初級講座
- ▲11/22(水)～26(日)目黒ユネスコ美術展
- ★12/3 (日) サイエンス教室『回れLED コマ!!!』
- ★12/16 (土) ユネスコ文化講座②「韓国料理」
- ★12/17 (日) 青少年フェスタ
- ★1/20 (土) ユネスコ文化講座③「日本酒の魅力」
- 自主語学教室6講座 (仏1・英2・独1・伊1・中1)

- 目黒ユネスコ協会主催
- 目黒ユネスコ協会の関連機関・団体との協力事業
- ▲目黒ユネスコ協会の関連機関・団体との共催事業
- ★目黒教育委員会からの受託事業

最新情報は
HPからどうぞ■**会員募集**：青少年活動、教育支援、国際交流、催事、広報・パソコン関連等、会員募集中。問合せ：事務局久富まで。

編集後記

先日、イコモス(ユネスコの諮問機関)が明治神宮外苑の再開発に対し、計画撤回などを求めた「ヘリテージ・アラート(遺産危機警告)」を発した。100年続く憩いの場に高層ビルが2棟建築され、約1,000本の樹木が伐採される計画である。既に世界遺産に認定されているところでも、危機遺産と呼ばれ消えつつある遺産や、崩壊の危機にある遺産もある。観光問題・気候変動などが主な原因となっている。現在まで守られてきたものが、現代人によって壊されようとしている遺産が増えていくことに憂いを感じる。

酷暑だった今年の夏もようやく終焉の兆しが見え、秋を迎えようとしている。スポーツ観戦やイチョウ並木をそぞろ歩きながら、守っていくことの難しさや継続していくことの意義を考えてみてはいかがでしょうか。

遠藤 裕子

